

PART 1 コレさえ覚えれば、アイロンがけが

前身ごろ1



12

前身ごろのボタン付近は、アイロンの先を浮かせて、お尻の部分でボタンの上からなでるように軽くプレス。

NG



タックは、上からアイロンで押さえ込まない。スチームで自然な折り目を。

後ろ身ごろ4



11

タックの細かいシワは、スチームで伸ばします。「強力スチーム」のような機能があれば、より便利。

後ろ身ごろ3



10
タック部分は、右側から左側へかけてアイロンをかける。タックの折れ目には、アイロンの先を浮かせて、お尻の部分でボタンの上からなでるように軽くプレス。



9
背中を中心として半分ずつに分けるつもりで、最初の半分をアイロンがけ。右の上でシャツを動かして、もう片方もかける。



一般的に後ろ身ごろはアイロン台よりも大きいので、一気にかけるとかえってシワのもと

前身ごろ2



13

前身ごろを、直線に一気にアイロンを動かしながらプレスする。方向は、裾から襟、襟から裾のどちらでも。

完成!



14

右前身ごろ、左前身ごろがかけ終わったら完成。最後は襟の立ち具合もチェック。こまかいシワが気になる場合は、ハンガーにつるしてスチームをかけます。

さらに

ボタンの周りのシワが気になるなら、アイロンの先を軽く動かしながら伸ばします。

スタートからわずか5分で完成! パーツごとに細かく区切ることで、革新的ポイント、しっかりと動かして効果的です。



アイテム別に解説! 「アイロンの効果的使い方」



● **パンツの折り返し**
裾のところで両側の縫い目を合わせて、裾から股上に向かってアイロンを、折り返し、パンツの折り返しも、ポケットの縫い目から5cmのところまで、まず片方ずつつけて、必ず裏面に裏足をそろえて折り目をプレスし、形を整えます。



● **ジャケットのたたみシワ**
衣替えの時期、クローゼットの奥から取り出してきたニットに深いたたみシワを発見! そんなときはハンガーにつるし、スチームアイロンを使って、衣類から少し離しながらシワによってスチームをかけます。



● **ジャケットの袖シワ**
ジャケットは、長時間たたいておくとシワが寄り、袖のシワがひどくなる。アイロンがけして、袖口をひろげながら折り返すとシワが伸びます。

シワが寄り、長時間たたいておくとシワがひどくなる。アイロンがけして、袖口をひろげながら折り返すとシワが伸びます。



楽になる 要するに、キレイに仕上がれば、アイロンがけも少しはイヤじゃなくなるわけです。秋に出番の多いシャツのシワ伸ばし法をマスターすることが、達人への近道!



襟2

6

襟足も同様に、かけたばかりの襟部分を台の手前に折り、アイロンの先でプレスしながらシワを伸ばします。



ヨーク

7

襟を手前にしてシャツをアイロン台に置き、ヨーク部分の内側を肩から背中、逆側の肩までアイロンをかけます。



後ろ身ごろ1

8

前身ごろと後ろ身ごろの一方の縫い目によってアイロンをかけます。袖に向かって、裾に向かっても方向はOK。



袖口3

4

袖口をアイロン台の手前に折り、アイロンの先でプレスしながらシワを伸ばします。



注意!



袖口1

袖口に折り目をつけず、袖口をアイロン台から浮かします。



袖口2

カフスが仕上がったら、そのまま袖のあき部分にアイロンを動かします。タックは裏側から折りの内側だけをかけます。



「アイロン達人」山澤亮治さん

ママサウプレス代表。高橋に並ぶ前の女性の洋服や制服、プレスを受け持ち、アパレル業界で活躍。5分で5着のシャツを仕上げ、100円ショップなどのものでもOK。強力なシワには、霧吹きとスチームを併用。



START

1 自宅で洗濯して、シワがひどい場合は、衣類乾燥機からスチームアイロンかけでもOKです。綿100%の場合は、霧吹きと併用。



2

最初に取りかかるとはカフス部分、袖口からアイロンを入れて、アイロンを手前から奥に向かって裾から裾までを伸ばします。

今さら聞けないアイロンQ&A

Q アイロンをかける順番は?

A シルクや合成繊維はアイロンがけできないので、アイロンがけできないものを先にアイロンがけして、アイロンがけできるものを後でアイロンがけします。

Q アイロンがけする順番は?

A アイロンがけする順番は、襟、ヨーク、袖口、後ろ身ごろ、前身ごろ、裾、ポケット、タックの順番です。

Q アイロンがけする順番は?

A アイロンがけする順番は、襟、ヨーク、袖口、後ろ身ごろ、前身ごろ、裾、ポケット、タックの順番です。

Q アイロンがけする順番は?

A アイロンがけする順番は、襟、ヨーク、袖口、後ろ身ごろ、前身ごろ、裾、ポケット、タックの順番です。